

○国会開会、中川の挑戦

臨時国会が始まりました。私は、法務委員会と憲法審査会に所属します。引き続き頑張っていきます。

法務委員会では、外国人の受け入れについて、様々に問題が指摘されている時代遅れの入管法を、国際標準を目指し改正に向け挑戦していきます。留学生や外国人労働者に対する日本語教育の体制整備については、一歩前進。三年前に成立した日本語教育推進法に基づき、文科省が制度設計に取り組んでいます。また、日本が就学・就労先として「選択してもらえる国」であることが大切です。これまでの、「移民」についての議論は、賛成か反対かの入り口から進むことはありませんでした。しっかりとしたルールを作り、国を開いて、海外からの頭脳や技術、若い優秀な労働力を受け入れる体制を一日も早く作ることです。

憲法審査会では、筆頭理事に就任します。野党を取りまとめながら、「論憲」を進めたいと思っています。積極的な憲法議論を積み重ねる中で、この国の基本を国民と共に確認していきたいと思っています。党の憲法調査会長の役割も引き続き担っていきます。

日本周辺では、中国やロシアなどを含め専制的な国家の台頭、台湾や北朝鮮の情勢が緊迫してくる中で、国を守るための備えをどこまでしていくのか。戦後の平和憲法、民主主義と人権、そして国連主義。この基本の中で生きてきた日本の生き様を大切にすると同時に、新しい時代の課題に対して、憲法に付加していく問題があるとすれば、そこを検証して憲法の文案に反映させていくような議論をしていきたいと思っています。党としての憲法議論もとりまとめ、調査会報告として示していきたいと思っています。

○アベノミクスの結果、日銀金縛り

物価高対策が政府の最大課題となっています。石油や食料品などの値上げに対して、低所得者を中心に給付金などで対応することが中心です。しかし、もっと根本には、政府日銀の金利政策があります。欧米各国が、政策金利の大幅な利上げを選択している中で、日本だけが頑なに0金利にこだわっています。アベノミクスで膨らんだ国債を日銀が買い入れた額は現状500兆円を超えています。この状態で金利を上げれば、日銀の破綻

と円通貨の総崩れとなるのではないかという指摘もあります。アベノミクスの負の遺産です。

○ウクライナだけでない身近な紛争の種

ウクライナの情勢が長期化する中で、特にEU諸国には、その影響が経済を中心に深刻な形で及んでいます。日本にとっても、近くの北朝鮮やミャンマーで、その状況は、悪化しています。中国に対しては、台湾を統合するための攻勢が強まるのではないかと懸念が広がっています。

ミャンマーでは、国民への弾圧や少数民族との内戦が広がるだけではなく、民主化を進めてきた国会議員を含む4人の運動家が処刑され、海外からも強い抗議の声があがっています。さらに、死刑判決を受けている民主運動家は、127人に及ぶとされています。少数民族地域では、軍政の弾圧で、激しい内戦状態に及んでいます。私は、ミャンマーの民主化を支援する議連の仲間とともに、軍政に対し厳重な抗議を行い、日本政府にも、さらに厳しく対応することを求めています。特に、国軍を利するようなODAによる経済支援や、防衛省への国軍からの留学生受け入れについては、直ちに停止することを求めました。難民に対する人道支援の道筋も作っていきたくと思っています。中でも、タイ経由の支援が軌道に乗りつつあります。また、現状を把握し有効な支援のあり方を検討していくためにも、出来るだけ早い時点で、国会議員の調査団でミャンマー国内に入っていくことを模索しています。

○政治スクールで政治を語ろう！

立憲民主党三重県連が、政治スクールを開講します。私が塾長として、青年局の皆さんとともに企画にあたっていきます。現職の国会議員や、県議・市議、有識者と政治について直に議論する場を作ることはもちろん、フィールドワークで、先端的な工場、福祉、村おこしなどの現場にも出かけて、政治に何ができるか実感できる機会も作ろうと計画しています。政治ってそもそも何？という人から、政治の話をするのが好き、さらには、政治家になりたい、という皆さんまで、多様な皆さんの参加を、お待ちしております。初回は11月26日(土)です。詳細は三重県連のHPやSNSで近日中にお知らせいたします。

【編集元】衆議院議員中川正春事務所

E-mail:nakagawa@cronos.ocn.ne.jp

ホームページはこちらから→

三重／〒513-0801 鈴鹿市神戸 7-1-5

TEL:059-381-3513/FAX:059-381-3514

東京／〒100-8981 千代田区永田町 2-2-1 衆議院第一議員会館 519号室

TEL:03-3508-7128/FAX:03-3508-3428

